

ぶどうの樹

2013.12

NO. 13



(イラストデザイン)
国際コミュニケーション学科4年
もてぎ わかな
茂木 若奈さん



ぶどうの樹 NO.13

2013(平成25)年12月6日発行

発行者
学校法人 長崎学院 長崎外国語大学
〒851-2196長崎市横尾3-15-1
☎095-840-2000(代表)

INDEX

特集: 共に学ぶ

- 2 カンバーセッションパートナーで「共に学ぶ」
- 3 プロジェクト科目で「共に学ぶ」
- 4 アンペロス寮

- 6 大学情報
- 8 寄付金事業報告
- 9 チャペル通信

特集 共に学ぶ

カンバセーション パートナーで「共に学ぶ」

カンバセーションパートナーは短期留学生の日本や長崎での生活、日本語学習をサポートするための制度です。この制度は1998年に開始され、現在は85組(191名)がカンバセーションパートナー制度を活用して、お互いの言語を学んでいます。

日本人学生には、留学生がスムーズに留学生活を送れるようにしっかりと手助けをすることが求められています。週に1～2回程度、パートナーと食堂や学生ラウンジで会い、お互いの趣味や出身地、大学生活、食べ物・料理などについて話し、交流を深めていきます。その際、パートナー同士は、半分は日本語、半分は英語や相手の国の言語で会話しますので、「共に学び」ながら語学力を磨けます。

それでは、カンバセーションパートナーの活動を実際に行っている学生にお話しを伺ってみましょう。



左から
古谷 文夫さん
(現代英語学科1年、社会人学生、山口県出身)
ブライアン・マックガバンさん
(短期留学生、アメリカ出身)
田港 亜耶乃さん
(現代英語学科1年、沖縄県出身)



Q この制度を利用しようと思ったきっかけは何ですか？

マックガバンさん：9月に来日したばかりなので、日本人と親しくなり、日本語を学ぶための最適な手段だと思ったからです。

古谷さん：外大のたくさんの学生さんがこの制度を利用しているからです。それに、英会話の上達に役立つとも考えたからです。

田港さん：私は将来、アメリカに留学したいので、カンバセーションパートナーを始めました。留学生とぜひコミュニケーションをとりたいと思っていました。



(撮影) 国際コミュニケーション学科1年
 あんどう たいすけ
 安藤 大輔さん

Q 週に何回程度、どこで会っていますか？

マックガバンさん、古谷さん、田港さん：週に2回、火曜日と木曜日に学生ラウンジで会っています。また、月に1回、長崎市内に3人で食事に行っています。お寿司や長崎牛などを食べました！もちろん、ちゃんぽんも食べに行くつもりです。

Q どのような会話をお互いにしますか？

マックガバンさん、古谷さん、田港さん：出身地や家族について、学校生活や週末に何をしたかななどについてですね。長崎市内を一緒に歩いた後には、街で見かけたものが話題になります。たとえば、マックガバンさんから、三菱重工の長崎造船所について質問がありました。

Q パートナーと出会って、学んだことは何ですか？

マックガバンさん：まず、古谷さんと田港さんは、最高のパートナーだと思っています。古谷さんはとても寛大な方で、田港さんはとても親切。お二人のおかげで、日本語がだんだん上手になってきました。長崎や日本についてもたくさん教えてもらえました！

古谷さん：本場の英語を学べるのが良いですね。本当の発音を聞ける貴重な機会です。授業以外でこうした制度があるのは助かります。

田港さん：アメリカの英語を学べるのがすごく嬉しいです。リスニングや発音の勉強になります！マックガバンさんのおかげで、アメリカについても色々を知ることができました。

インタビューにお答えいただきありがとうございます。このようにカンバセーションパートナーを活用すれば、留学生は大学や長崎の生活にスムーズに溶け込むことができ、日本人学生は留学をしなくても本場の言葉を学ぶことができます。学生たちは、共に学びながら国際的なコミュニケーション能力を身につけています。

プロジェクト科目で「共に学ぶ」

プロジェクト科目とは、地域貢献を視野に入れ、学生の自主的な取り組みによって進められる科目です。

国際交流サロンプロジェクト

プロジェクトの概要

現代英語学科

メンバー 辛島 千佳子さん(3年)、北村 陽子さん(3年)、迎田 健太朗さん(2年)、
 船橋 嘉一さん(2年)、古堅 優さん(3年)、上野 勇樹さん(4年) (担当：南津 佳広講師)

[目的] 日本人と外国人の交流の場を作る。

[企画イベント] 学内外の若者が集い、10の地域のデザートを作って食べる。(2014年1月)

[注目] 「国際・平和交流プログラム公開コンペティション*」第2位入賞

*：長崎平和推進協会が主催する催しです。平和や国際交流に関わる活動を行う長崎県内の学生(チーム)が活動内容を競い、上位2チームが資金提供を受けることができます。本プロジェクトはイベント実施のために30万円の資金提供を受けました。



座談会参加メンバー：辛島さん、北村さん、迎田さん、船橋さん

Q 「国際交流サロンプロジェクト」を立ち上げたきっかけを聞かせてください。

辛島さん：私の周りでは、あまり日本人と留学生と一緒に活動するチャンスがなかったので、皆が交流できる場を作りたいと思って立ち上げました。

Q 今はどれくらいの留学生が参加しているんですか？

北村さん：10の地域から集まっています。中国、韓国、ネパール、スロバキア、ドイツ、台湾、アメリカ、ノルウェー、フランス、日本です。

船橋さん：イベント(10の地域のデザートを作って食べる)当日だけの参加ではなく、毎週1回のミーティングにも参加してもらっています。

迎田さん：ミーティングでは、僕たちメンバーはあまり口を出し過ぎないようにして、調整役に徹しています。11月以降はミーティングに加え、試食会も始まります。

Q 次のイベントには100人を超える参加者が集まると聞きました。多くの人たちをまとめるのは大変だと思いますが、辛いと思うことはないですか？

全員：不思議と辛いとは思いません。楽しくて仕方ないです！本当に！！

辛島さん：敢えて言うなら、プロジェクト科目の中間報告会とコンペ*の準備期間が、時間的に一番大変でした。それぞれ授業もあるので、調整が難しかったです。昼休みにしていたミーティングを1限目に変更して、集中できるようにしました。

迎田さん：中間報告会でうまくプレゼンができなかったことも悔しかったですね。準備も足りなくて、内容も中途半端な感じがしました。メンバーの仲も良いし、やる気もあるのになかなかまとまらなくて…。

船橋さん：コンペ*はその1週間後だったのですが、内容の見直しを始めて必死で取り組みました。今思えば、あの頃からプロジェクト自体が軌道に乗ってきたように思います。

北村さん：ミーティングの議事録を取るようになり、工夫を重ねました。夏休みも頻りに大学に来ていたんですよ。

全員：懐かしいねー。

Q まだ途中の段階ではありますが、これまでの活動で得たものって何でしょう。

辛島さん：自分の意見を積極的に話せるようになりました。これまでは、グループ活動するときなどは、どちらかという意見のまとめ役になっていたと思います。でも、このプロジェクトでは、自分も議論の輪に参加できるという安心感があります。

迎田さん：僕は自分の立ち位置を学びました。今まで仲の良い友だちとばかり付き合っていたのですが、このプロジェクトを始めて、他人に興味を持ち、積極的に関わる楽しさを学びました。ちなみに、このメンバーも、最初はほとんど知らない人たちだったんですよ。

船橋さん：自主性が身につきました。企画し、計画を立て、実行する、お膳立てなしで全てを自分たちの力で、責任を持って進めなければなりません。

北村さん：私は社会人学生で、皆より年齢が上なんです。皆の意見を引きだしたり、自由な振る舞いができるような雰囲気作りができるようになったと思います。

全員：お姉さんの存在です！

メンバーが一つの目標に向かって、楽しみながら取り組んでいる様子がとてもよく伝わってくる座談会になりました。今後の活動にも期待しています！

長崎外国語大学は、「グローバル化に対応できる人材の育成」を教育目標として掲げ、海外留学の推進、留学生と共に学ぶキャンパスの構築など、様々な改革を実施しています。この方針に基づき、これまで女子寮として運営してきたアンペロス寮を2014年4月から男女、また日本人、外国人を問わず居住できるようにし、真の意味での「国際寮」として運営することにいたしました。寮では、レジデント・アシスタント(RA)を中心に、寮生同士が助け合いながら生活を自己管理するとともに、相互の親睦を深めます。

「アンペロス」とはギリシャ語で「ぶどうの樹」の意味で、聖書の一節に因んで名付けられました。イエス・キリストに因り、大学生がぶどうのように実り多いものになるようにとの願いが込められています。

レジデント・アシスタント(RA)とは…

国際交流、イベント、衛生管理、問題解決など様々な面で、寮生の代表として活躍してもらう学生スタッフのことです。また、必要に応じて寮長や管理人、寮母と連携し、円滑な寮運営をサポートします。

居室・設備

ベッド(引出付)、机、椅子、クローゼット、風呂、トイレ、流し台、IHコンロ、エアコン、電話、下駄箱などが装備されています。

1人部屋と2人部屋があり、間取りは全室共通で、2人部屋は同じ広さの居室に机2台と2段ベッドが入ります。



NEW

2014年4月から男子も入寮可能になることに伴い、男子階、女子階という区分を設けます。

NEW

2014年4月から夜間に警備員を配置し、夜の閉も皆さんの安全を守ります。



正門・1階エントランス

夜間は正門及び寮1階のエントランスは施錠され、部外者の侵入をシャットアウトします。



NEW

寮正門に暗証鍵システム、寮入口に指紋認証鍵システムを導入することにより、寮生は24時間、寮に入出入りすることができます。

学習室

9:00~21:00の間、利用できます。学習室は冷暖房完備の静かな環境のため、1人で集中したいときには最適な学習スペースです。



和室

毎週木曜日18:30~19:30に日本舞踊のレッスンが行われています。

日本人でも着付けや日本舞踊を体験したことがある人は少ないはず。先生が基礎から教えてくれます。寮のクリスマス会や学園祭の時に練習の成果を披露します。



寮母からのメッセージ

アンペロス寮は様々な国の学生が生活を共にする国際寮で、充実した設備・万全のセキュリティーで皆さんをお迎えいたします。

親元を離れての生活に多少の不安もあるかと思いますが、楽しく健康的で快適な学生生活を送ることができるよう、寮スタッフは24時間体制でサポートしております。

また、年間を通して色々なイベントもありますので、国籍・年齢を問わず、多くの学生とコミュニケーションを取ることが出来ます。

国際色豊かな「アンペロス寮」で思い出に残る素晴らしい学生生活を過しましょう!!

フィットネスジム

ランニングマシン、エアロバイク、腹筋台、サンドバッグなどが設置しており、毎週木曜日にはヨガやエアロビクスのレッスンが行われています。寮生は無料で利用できます。



コミュニティスペース



玄関入口付近にあるオープンスペース。テレビ、ピアノ、コンピューター、新聞、飲料・軽食自動販売機などが設置しており、寮生の憩いの場です。

NEW

食堂の一角には寮生が利用できる共同ダイニングキッチンを設置します。食事が選択制になります。



イメージ図

食堂



初めての寮生活でも安心!管理栄養士が考えた栄養満点の食事(朝・夕2食)を提供しています。夕食の時間帯は通常18:00~20:00ですが、事前に申込みをすると22:00まで食事をとることができます。アルバイトをしている寮生には便利なサービスです。

食堂は7:00~24:00まで開放しているので、食事が終わっておしゃべりしたり、グループ学習をしたり賑やかな空間です。

風邪をひいたときには、寮母がお粥を部屋に運んでくれますよ。

共同ダイニングキッチンは寮生の誰もが利用できます。お弁当を作ったり、留学生と共に多国籍料理を作ったり、料理で世界を感じてみよう。

アンペロス寮の小部屋

謎の部屋があるらしい!?

寮生の家族、寮見学者のために宿泊室が設置しており、格安で宿泊できます。

ゴミ捨てが便利!

寮敷地内のゴミステーションに毎日捨てることができます。

フリーマーケットが開かれているらしい!?

入退寮時期には冷蔵庫¥1,000、自転車¥2,000など格安で手に入れることができます。不要なものがあれば、コミュニティスペースの掲示板で宣伝できます。

不在配達票知らず

日中、寮にいないときも寮母が代理で宅配便の受取りをしてくれます。各自で梱包を済ませたら、1階事務室で荷物の発送も可能です。台車も利用でき、引越しも楽々。

地区別保護者懇談会報告

毎年10月中旬に開催している地区別保護者懇談会ですが、今年で9回目を迎え、10月19日(土)に本学で、10月20日(日)に福岡市、大分市の2か所でそれぞれ開催しました。特に今年の長崎会場は、平成24年度文部科学省「私立大学教育研究活性化設備整備事業」(※1)によって新設したラーニング・commons(※2)「Costa Space」で行われ、保護者の方々への良いお披露目の機会となりました。

この懇談会は、本学での学生生活、キャリア支援、海外留学など、保護者の皆様が抱えている心配や不安について、担当教職員が詳しくご説明し、保護者の皆様と教職員が親睦を深める場として実施しているものです。

全会場とも保護者会役員が参加され、また、在学生による学生生活についての講話も行われ、大変好評でした。

参加者数は、長崎会場が昨年よりやや少なかったものの、福岡と大分会場ではほぼ例年どおりとなりました。

保護者の皆様の貴重なお時間を頂戴しながら、無事、予定しておりましたスケジュールを終了することができましたことを感謝申し上げます。

2013年 地区別保護者懇談会 参加人数

| 会場/学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|
| 長崎 | 14 | 5 | 1 | 4 | 24 |
| 福岡 | 7 | 2 | 2 | 0 | 11 |
| 大分 | 1 | 5 | 0 | 0 | 6 |
| 合計 | 22 | 12 | 3 | 4 | 41 |

※1「私立大学教育研究活性化設備整備事業」は、私立大学が建学の精神と特色を生かした人材育成機能を発揮し、私立大学の教育改革のこれまで以上の新たな展開を図るため、基盤となる教育研究設備を整備することを目的とするものです。

※2 ラーニングcommonsとは、学生が(学生や教職員と)コミュニケーションを取り合いながら学ぶことができる、開かれた学習空間のことです。

長崎外国語大学保護者会について

2007年6月23日に設立された長崎外国語大学保護者会は、本学の学生の教育及び福利厚生に関する事業を支援し、大学との情報交換、会員相互の親睦を密にし、もって大学等の発展に寄与することを目的として活動しています。

また、保護者会は、保護者の中から選任された理事・監事によって理事会が組織され、大学と連携しながら円滑に運営されています。保護者会は保護者全員で組織される学生支援団体ですので、保護者の皆様のご協力が必要です。今後共ご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

右記に、2013年度に於ける保護者会の主要活動をお知らせいたします。

| 時期 | 主な活動 |
|-----|---------------------|
| 4月 | 第1回理事会 |
| 5月 | 第2回理事会、定期総会(5/25) |
| 6月 | インカレ出場支援費授与 |
| 7月 | 第3回理事会・課外活動支援ヒアリング |
| 9月 | 第4回理事会、大学との懇談会 |
| 10月 | 課外活動支援費授与、地区別保護者懇談会 |
| 11月 | 学友会活動支援、外語祭協賛 |
| 12月 | 第5回理事会・学友会との懇談会 |
| 2月 | 第6回理事会 |
| 3月 | 目標達成奨学金授与 |

保護者会による主な学生支援内容

- ① 学生奨励金制度** 学習奨励、スポーツ奨励、社会貢献、その他分野を問わず社会貢献・善行等で顕著な功績があった者または団体に対する支援
- ② 課外活動支援** 大学で活動する課外クラブに対する運営費の助成と大会等への参加旅費等の一部支援
学友会支援、外語祭協賛
- ③ 勤労奨学生支援** 大学の図書館等での軽作業に当たる学生への生活支援(公募により学生を選任)

長崎外国語大学同窓会 関東地区支部発足式が開催されました

長崎外国語大学 学長 石川 昭仁 いしかわ あきひと

11月16日、長崎外国語大学同窓会 関東地区支部の発足式が東京・銀座で開催され、粟屋曠理事長と共に出席し、短大時代からの念願でありました関東支部の発足に際し、同窓会役員をはじめ関係者の皆様のご努力への感謝とお祝いの言葉を述べました。

関東地区支部長には、長崎外国語短期大学5回生(1956年卒)、東京都在住の平木輝生さんが就任され、国際社会で役に立つ人材の育成に力を注がれている長崎外大を誇りに思うと同時に関東地域における同窓会活動を通して母校に貢献したいとの力強いご挨拶がありました。平野大壽同窓会会長、岩田耕作同窓会副会長の他、1957年～1979年の間に短大を卒業され、社会で広く活躍されています8名の卒業生も出席され、今後の支部活動について活発に意見交換が行われました。

大学としましては、長崎外大の建学の精神を継承して下さっている同窓会や卒業生の皆様との連携にこれまで以上に力を注いでいく方針です。(長い歴史を持つ「長崎外国語短期大学同窓会」は、四年制大学開設にともない「長崎外国語大学同窓会」に統合され、総卒業生数は2013年9月末現在で12,463名となっています。)



第1回長崎外国語大学OB・OG会を開催しました!

11月2日(土)に、長崎外国語大学、短期大学の卒業生を本学に招き、OB・OG会を開催しました。

当日は本学の第1～9期の卒業生をはじめ、短期大学時代の卒業生もあわせて約50名の参加がありました。参加者は卒業アルバムを見ながら学生時代の思い出話を花を咲かせ、お世話になった先生方との再会を喜んでいました。また、同日は第63回外

語祭も開催されていたため、在学生の参加も多数あり、先輩に就職活動に関する相談をしたりするなど、普段はあまり関わりのない卒業生との交流を楽しんでいました。当日に来られず、翌日に来学した卒業生は、ボードにメッセージを残してくれました。

ご来場いただいた卒業生、教職員の皆さん、ありがとうございました。また来年も開催する予定ですので、沢山のご参加、お待ちしております!



(背景デザイン) 国際コミュニケーション学科4年 茂木 若奈さん もてぎ わかな

旅程管理研修

本学院は、学校法人では全国ではじめて観光庁長官登録研修機関として2006年12月に認可を受け、翌年4月より旅程管理研修を開始し、今年で7年目を迎えました。「添乗員/ツアーコンダクター」を目指す学生はもとより、旅行業に関心をお持ちの方々にも受講していただいています。現在までに国内・総合併せて350名(2013年10月現在)の方々旅程管理研修を修了されました。

旅程管理研修の受講者と修了者報告 (2007年4月～2013年9月終了分まで)

| | 総合 | 総合(国内免除) | 国内 | 合計 |
|------|-----|----------|-----|-----|
| 受講者数 | 307 | 11 | 104 | 422 |
| 修了者数 | 246 | 8 | 96 | 350 |

添乗実務研修先: (海外)ハワイ、ニューカレドニア、香港、パリ、ベトナム、シンガポール、タヒチ、アメリカ西海岸
(国内)長崎、沖縄、京都、大阪



現代英語学科4年 久松 優希さん

人と接することが好きな私は、人と深く接する仕事がしたいと思い、大学3年生の夏に国内旅程管理研修を受講しました。

まず「基礎研修」で添乗員の仕事に必要な最低限の基礎的な知識や旅行業界のことを学んだ後、「国内旅程管理(指定)研修」では旅程管理主任者としての基本的な義務や心得、旅行に関する法律などを学びました。専門用語は初めて聞くものばかりでしたが、定期的に行われる小テストのお陰で無理なく覚えることが出来ました。

研修では、主任講師が添乗した時の話を色々してくださり、自分も早く添乗してみたいという気持ちの方が更に強くなりました。研修の最終日には試験があり、その試験に合格するといよいよ「添乗実務研修」へと移ります。私は大阪・京都で実務研修を行いました。初めての場所でもお客様を案内できるように、観光名所やバス、地下鉄の路線など事前に予習して行ったのですが、いざ飛行機を降りて「では

今から一人で案内してください」と言われると右も左もわからず、改めて添乗員の仕事の大変さを実感しました。添乗員の仕事内容を実際に目で見、学ぶことが出来たことはとてもいい経験になりました。

国内旅程管理主任者資格を取得した現在は、添乗員のアルバイトをしています。初めの頃は緊張して上手く話せないこともありましたが、経験を重ねるうちに、自然と言葉も出るようになりましたし、バスの中では旅先に関するクイズを出し、お客様とコミュニケーションを取っています。その日の旅行が終わればバスを降りる時に「本当に楽しい一日でした。ありがとう」とお客様から嬉しい言葉を頂いた時にとてもやりがいを感じています。

今はまだ国内の資格しか取得していませんが、卒業までに総合の資格も取得し、いつか海外の添乗ができるようになることが今の私の夢です。そのためにこれからも国内の添乗で経験を積みたいと思っています。

興味のある方はコチラまで

お問い合わせ先

〒851-2196 長崎県横尾3-15-1 学校法人長崎学院 旅程管理研修機関事務局
TEL:095-840-2006 E-Mail:ryotei@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

図書等教育環境充実に関わる寄付事業のご報告

ご支援いただいたご寄付により、4連複式の書架を1台購入し、多読コーナーを整備しました。多読図書とは、外国語習得を目的として多く読むために、レベル分けされた外国語(本学では日本語を含む)の読物のことで、絵本に近いような簡単なものから始めて少しずつレベルアップして読み進むことで力をつけていく語学学習用の図書です。

書架の購入により、これまでバラバラに配架されていた英語、ドイツ語、フランス語、日本語等の多読図書をコーナーにまとめることができ、活用しやすくなりました。

今後、中国語、韓国語等の多読図書の充実に向けて取書を計画し、更に学生の語学学習に役立てたいと考えています。



ご支援(寄付金)に関するお問い合わせ先 学校法人長崎学院 法人事務局財務課 担当: 榎本 電話: 095-840-2003(直通)

図書等教育環境充実のためのご支援のお願い

長崎外国語大学は「語学力」・「コミュニケーション力」・「人間力」の養成を目標に、また、「キャンパスが世界」(多くの留学生と日本人学生が共に学ぶ国際交流拠点としてのキャンパス)を旗印に、それに相応しい施設、設備の拡充を目指しております。2012年10月から開始した「図書等教育環境充実に関わる寄付事業」には2013年3月末で247件、総額3,404,380円のご支援をいただきました。本年度につきましても10月末日現在で92件1,211,000円のご支援をいただいております。

同窓会、保護者会、在学生保護者、取引先の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、今後とも長崎外国語大学の教育・研究にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※ 2011年6月の税制改革により「学校法人に対する税制上の優遇制度」が導入され、個人様については税額控除、法人様については寄付金の全額損金算入などの優遇措置があり、ご支援いただいた寄付に対して税金が戻ってきます。詳しくは、以下のHPまたは法人事務局財務課までお問い合わせください。

● 本学HP: <http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp>

● 文部科学省HP: http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/003.htm

チャペル通信

映画のなかのキリスト教

『ペーパー・ムーン』(Paper Moon)

1973年:アメリカ(配給:パラマウント)

やま かわ きん や
山 川 欣 也



ピーター・ボグダノヴィッチ(Peter Bogdanovich)監督作品。不況に喘いでいた1930年代半ばのアメリカ中西部を舞台に、新聞の死亡欄でチェックした家を訪ねては、未亡人に聖書を売り付けて小金を稼いでいた詐欺師モーゼ(ライアン・オニール, Ryan O'Neal役)が、自動車事故で母を亡くした少女アディ(テータム・オニール, Tatum O'Neal役)を叔母の家へ送り届けるまでを描いた、いわゆるロード・ムービー。アディは、モーゼの昔の恋人の娘で、モーゼが父親であるとも噂されていた。本当は父娘かもしれないモーゼとアディの役を、実生活では本当の父娘であるライアンとテータムがまるで疑似父娘(恋人同士にも見える)のように演じたという、実に虚実混淆な物語映画。

とにかく、人物の配置と縦の構図にこだわりを感じさせることにくわえて、ただ地平線だけが分かっ果てしなく広がる空と何処までも続く大地や、決して賑やかではないアメリカ中西部の乾いた空気感をもカメラにおさめたモノクロの映像が圧倒的に美しい。撮影監督はハンガリー出身のラズロ・コヴァックス(Laszlo Kovacs)。

周知のように、1929年10月にニューヨーク株式市場で起こった株の暴落からアメリカは大不況の波の中に沈み、F・ルーズヴェルト政権のニューディール政策によっても起き上がることはなかなかできなかった。中西部の農村地帯では、20年代から続く不況に株式不況が追い打ちをかけ、さらに砂嵐(dust bowl)が農民たちの生活を困窮させていた。主人公2人が車で走っている途中、スタインバック原作『怒りの葡萄』で描かれたような、道端を荷車をひいてトボトボと歩く家族や、タイヤがパンクして所在なげに立ちつくしている家族をやり過ごす場面が、この地域の状況を象徴的に見せている。



また、映画の後半、密造酒の取引で儲けようとする場面が出てくる。1930年代半ばには合衆国憲法による禁酒の時代は終わっているのだが、依然として非合法下での売買が行われている地域が中西部には多かったのである。実は今日でも、この辺りは禁酒法時代のまま飲酒などが禁止されているところがあり、パイプ・ベルトとも通称される厳格なキリスト教信者(キリスト教原理主義者として知られる)が多く居住する地域にあっている。

まともに収入を得ることが難しい時代にあって、アディにペテンの才能を嗅ぎとったモーゼは詐欺コンビとして聖書を売りつけるだけでなく、両替や釣り銭をごまかすなど(落語の『時そば』のよう)して小金を稼ぎ、アディもその期待に応える。この凸凹コンビの主たる収入源は聖書の詐欺セールスだったが、当時セールスという仕事は花形の職種の一つであり、アメリカの家庭は突然の訪問販売に胡散臭さを嗅ぎとることはなかったであろう。おまけに、売りつけられるのは聖書である。信仰に篤いこの地域の人びとに付け込んだこの詐欺商法が上手くいっていたことは、ホテルの部屋が少しずつランクアップしていくことにも表れている。

ところで、『ペーパー・ムーン』の他に、アメリカ中西部、1930年代、男女コンビ、犯罪というキーワードで思い起こされる映画には『俺たちに明日はない』(Bonnie and Clyde)がある。主人公2人のぎこちなく、せつない男女関係は共通するが、前者が架空の詐欺父娘を、後者が実在した銀行強盗カップルを描き、結末も当然異なる。後者のラストシーンは潔く感情を断ち切る一方、前者のラストシーンの長いロングショットは、永遠の可能性と一抹の不安が混在し、複雑な思いに駆られる。

(現代英語学科教授/アメリカ文化研究)